



地域医療連携推進法人 美濃国地域医療リンケージ 新たな参加法人（小林内科）の参入について

令和8年度第1回岐阜県圏域地域医療構想等調整会議

地域医療連携推進法人

美濃国地域医療リンケージ 事務局

(社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院)



美濃国地域医療リンケージのこれまでの取り組み

① 医師等派遣や人材交流による
人材確保と機能強化



② 共同交渉等による経営改善



③ 合同研修会による
業務効率化と内容充実



④ 連携病理診断等による
診断体制の充実



⑤ 愛犬同伴入院サービスの提供
による患者のQOL向上





成果①～③



② 共同交渉	※2025年度削減金額
医薬品	400万円/年
医療材料	310万円/年
計	710万円/年



①-1 医師派遣 ※直近6月実績
常勤 2病院へ各5名/月
非常勤 3病院へ計16名/月

①-2 人材交流
看護師/薬剤師/ST/事務等

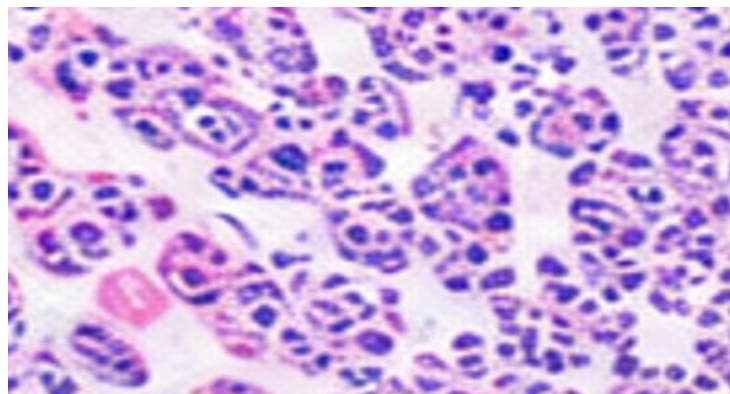
①-3 薬剤師派遣 ※直近6月から1名
★派遣先では病棟薬剤業務実施
加算1(300点)の施設基準を維持



③ 合同研修	
2024年度	4回
2025年度	4回
計	8回
(医療安全	4回
感染対策	4回)



成果④～⑤



④-1 連携病理（診断件数）

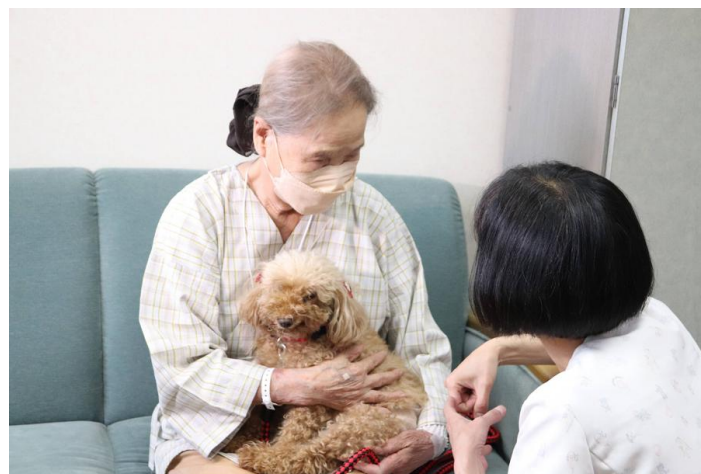
2024年度 484件

2025年度 509件

④-2 連携遺伝子（新規）

2026年度8月体制を構築予定

- ⑤ 愛犬同伴入院 ※2025年度4月～
2025年度 4名
2026年度(4～6月) 3名
※ペットお預かりセンター



その他の成果



紹介患者数の増加



人材交流の活性化

『ユビー生成AI
実機デモ説明会』



患者送迎便の運行

今後の展望



連携病理診断



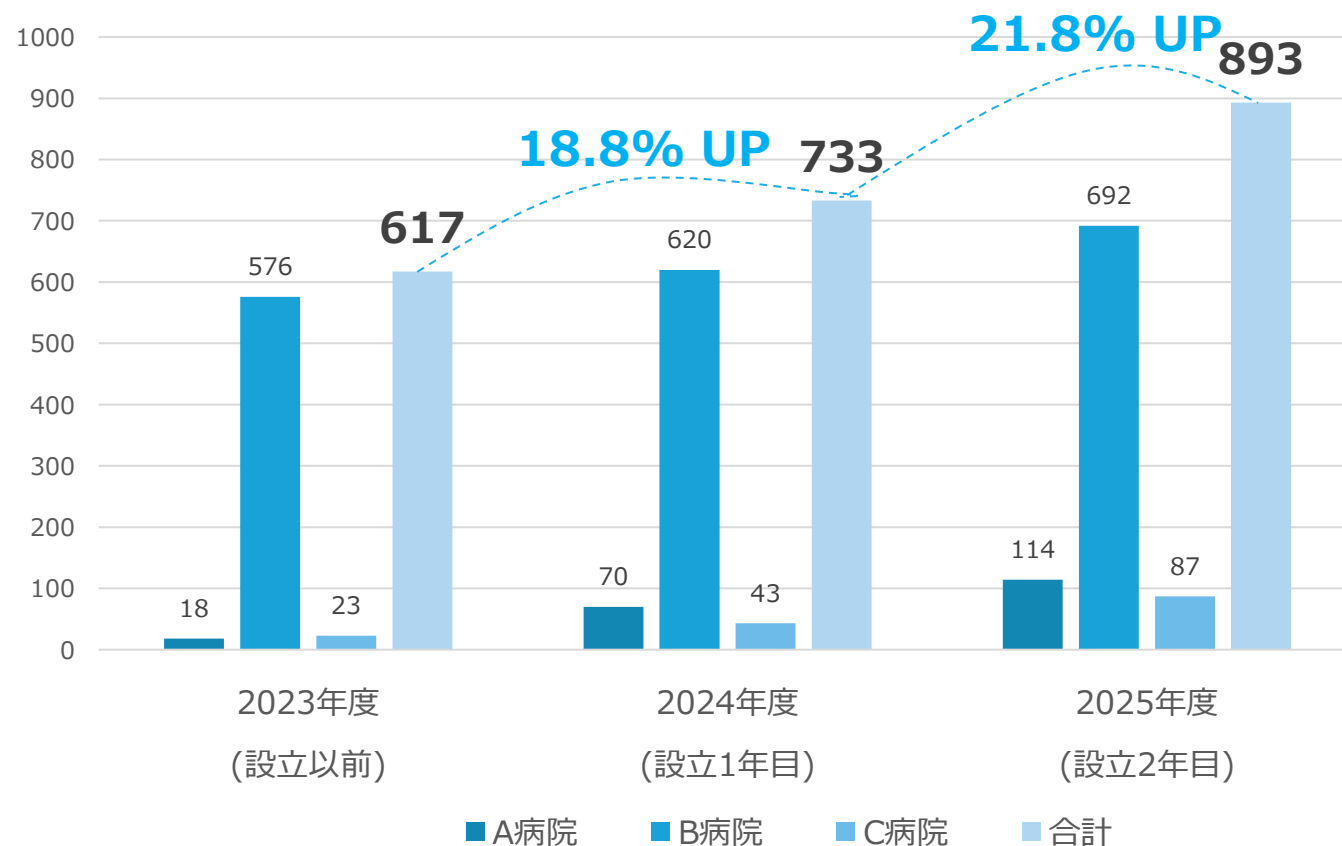
連携遺伝子検査



在宅医療連携

新たな連携事業が継続的に創出されている

<紹介+逆紹介 患者数の推移>





小林内科の参入概要

所在地	岐阜県各務原市鵜沼羽場町3-173
診療科目	内科・循環器科・小児科・消化器科など
病床数	19床（一般15床、療養型4床）
院長氏名	小林 博（元岐阜県医師会長）
施設特徴	機能強化型在宅療養支援診療所
参入日	2026年6月1日



地域医療連携推進法人の参加法人として新たに参画しました

小林内科参入の意義



地域の医療提供体制をさらに強化するため、
小林内科の参入は大きな意義を持ちます。



外来・在宅医療の充実

地域に根ざした外来診療と
在宅医療の推進により、
切れ目のない医療を提供。



病院・診療所連携の強化

病院・診療所の役割分担と
連携を進め、効率的で質の高い
医療提供を構築。





小林内科との位置関係



●訪問診療の16kmルール

厚生労働省が、原則として訪問診療を行う医療機関の所在地から患者の自宅までは「半径16km以内」でなければならないという距離の制限を「診療報酬の算定方法」として告示している。これは車やバイクでおおよそ30分程度で到着できる範囲とされている。

今後の展望



参加法人間の連携強化

連携事業をさらに深化させ、相乗効果を高めます。



地域医療構想の実現への貢献

地域の実情に応じた役割分担を進め、地域医療構想の実現に貢献します。



新たな連携事業の検討

地域課題に応じた新たな連携事業を検討・実施していきます。



美濃国地域医療リンケージは、参加法人の拡充を通じて、地域医療構想の実現に向けた連携をさらに推進してまいります。

ご清聴ありがとうございました



地域医療連携推進法人
美濃国地域医療リンケージ

